

～ときを越え
受け継がれるもの～

箱石

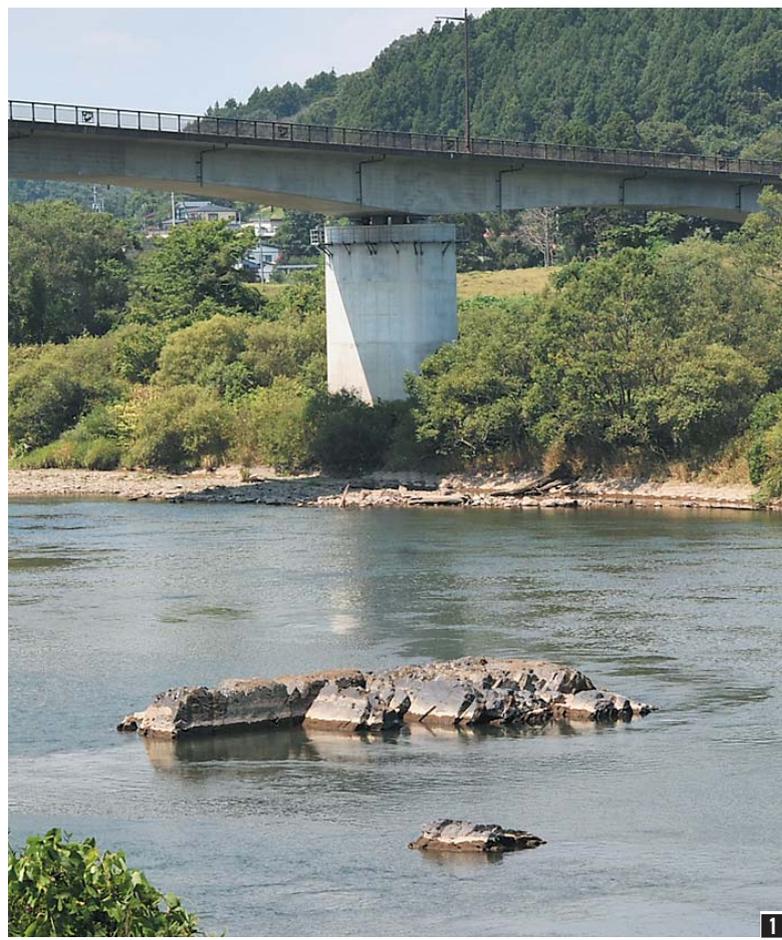
＝北上川河川区域内＝

前沢区字鶴ノ木と平泉町長島を結ぶ箱石橋から北上川の上流を眺めると、川の中央に大きな岩がどっしりと構える。この岩は箱石と呼ばれ、古くから北上川の水位を測る目安とされてきた。

この場所はかつて、箱石渡船場として兩岸を結んだ交通の要所。箱石の下流にある深淵とこまの静かな流れを利用し、人はもちろん、農産物などの荷物や牛馬までもが船で往来した。盛んに水上交通が行われ、対岸からの花嫁も渡し舟で迎え入れていた。しかし、橋梁の整備や自動車の普及とともに、昭和40年代には渡船場が廃止となった。

八畳ほどの広さの箱石は、渇水時にその姿を大きく現す。干ばつに見舞われると神楽を奉納し、雨乞あまごいをしたと伝わる。降水量の少ないことしも、箱石は水面から大きな姿を見せた。

太陽のまばゆい光を浴びながら、箱石は天からの恵みの雨を待ち続ける。



1 箱石橋とその名の由来である箱石 2 降水量の少ない年にはその姿を大きく現す 3 箱石橋から箱石の全容を眺めることができる

広告

※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約26円です。】

